**栄養関連大学院**

**管理栄養士養成施設に設置されている大学院に関する基礎調査**

平成29年度 管理栄養士専門分野別人材育成事業「教育養成領域での人材育成」

本調査は，日本栄養改善学会が厚生労働省より委託され，全国栄養士養成施設協会の協力の下, 実施している「管理栄養士・栄養士のための栄養学教育モデル・コアカリキュラムの検討」の一環として, 行う調査です。

栄養・食生活をめぐる様々な課題が深刻化・多様化している現在，管理栄養士・栄養士に求められる役割も高度化，複雑化しており，高い専門性と専門的実践能力を有する人材の養成が喫緊の課題となっています。そこで，管理栄養士・栄養士教育のあり方を検討するための基礎資料として，現状の教育がどのように行われているかを調査したいと考えております。

本調査は，管理栄養士養成施設に設置されている大学院（以下，栄養関連大学院）の研究科専攻等における人材養成の内容，その中でも高度専門職業人養成を目指した具体的な取組み等の把握を目的としています。

ご多用の折，誠に恐縮ですが，調査へのご協力をお願い申し上げます。

一般社団法人 全国栄養士養成施設協会　会　長　滝川　嘉彦

特定非営利活動法人 日本栄養改善学会　理事長　武見ゆかり

［ご回答にあたって］

1. 貴施設の研究科を総括する長，または担当される専任教員が，必要な統計データ等は事務担当とご相談の上，ご回答くださるようお願いします。
2. 回答は，E-mailまたは郵送のいずれかでお願いします。

（1）E-mailの場合･･･下記の問合わせ先のホームページよりダウンロードいただいた調査票にパソコンで入力し，下記の問合せ先のE-mailアドレスあてに，件名を「コアカリ調査」として送信してください。

（2）郵送の場合･･･本調査票に回答を手書きで記入し，返信用封筒にてお送りください。

1. 本調査は個人（教員，院生）の能力や施設別の実態を調べるものではありません。結果を公開する際は，集団のデータとして集計し，教員個人や個々の施設の情報が公表されることは決してありません。また，得られた情報は厳正に管理し，本調査目的以外には使用しません。
2. 本調査は任意の調査であり，回答しないことによって不利益を被ることはありません。一度回答を提出された後でも，報告書作成前で施設名の記載があれば，回答を撤回することができます。
3. 本調査のご回答をもって，調査への同意とみなします。
4. お答えいただいた内容について，後日，詳細な内容を問合せさせていただく場合があります。
5. 本調査へのご意見がございましたら，最終ページの自由記述欄にご記入ください。

**回答期限：平成29年８月31日（木）必着**

[問合せ先]

特定非営利活動法人日本栄養改善学会事務局　中森正代，勝呂玲子

〒108-0073東京都港区三田3-4-18二葉ビル904号

Tel: 03-5446-9970 E-mail: kaizen\_kyoiku@jsnd.jp

URL:http://jsnd.jp/information13.html(調査票をダウンロードできます)

**Ⅰ. 管理栄養士関係，あるいは栄養学関係の大学院の全体について**

1. 栄養関連大学院の名称および研究科名をお答えください。

（記載は任意ですが，できるだけ記名にご協力をお願いします。個々の施設の情報が公表されることは 決してありません。）

1. 管理栄養士関係，あるいは栄養学関係の専攻名（コースがある場合はコース名まで），入学定員等，以下の表の内容について，お答えください。専攻が複数ある場合は，すべてご記入ください。

**【修士（博士前期）課程】**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 専攻名 | 学位（修士号）の名称 | 入学定員(人/年) | 修了に必要な単位数 | 平成29年度在籍者数（修士〔博士前期〕課程計） |
| （回答例）栄養学専攻 | 修士（栄養学） | 5 人 | 32　単位 | 在籍者数　　　 　　9 　人内 管理栄養士有資格者 　　5 　人 |
|  |  | 人 | 単位 | 在籍者数　　　 　　　人内 管理栄養士有資格者 　　　人 |
|  |  | 　　　　人 | 単位 | 在籍者数　　　 　　　人内 管理栄養士有資格者 　　　人 |
|  |  | 　　　　人 | 単位 | 在籍者数　　　 　　　人内 管理栄養士有資格者 　　　人 |

1. 修士（博士前期）課程の担当教員（専任）は，何人ですか。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　また，その内，実践栄養学関連分野の教員は何人ですか。

※実践栄養学関連分野とは，公衆栄養，臨床栄養，栄養教育，給食経営管理などの分野を指します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 修士（博士前期）課程の担当教員数 | 人 | その内，実践栄養学分野の教員数 | 人 |

1. 博士後期課程がある場合，専攻名，および学位の名称をお教えください。あり，なしに〇をし，ありの場合は，専攻名と学位名をお答えください。

**【博士（博士後期）課程】**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | あり → | 専攻名 |  |
| 学位（博士号）の名称 |  |
|  | なし |  |  |

5. **修士（博士前期）課程の**人材養成の目的について，あてはまるもの全てに○をつけ，その分野に関してもお答えください。

|  |  |
| --- | --- |
| 養成する人材像 | 具体的な分野 |
| ↓ あてはまるもの全てに○ | ↓ あてはまるもの全てに○ |
| (　　) | 1) 職業人養成※職業人とは,管理栄養士・栄養士の資格または専門性を活かした職業に就く人材を指します。 |  | ① 臨床栄養 |
|  | ② 公衆栄養 |
|  | ③ 給食経営管理 |
|  | ④ 学校栄養 |
|  | ⑤ 健康・スポーツ栄養 |
|  | ⑥ 福祉栄養 |
|  | ⑦ 食品開発 |
|  | ⑧ 国際栄養 |
|  | ⑨ その他（　　　　　　　　　　　　） |
| (　　) | 2) 研究者養成 |  | ① 基礎研究 |
|  | ② 応用研究 |
|  | ③ その他（　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| (　　) | 3) その他 |  |

6. 貴施設における高度専門職業人養成について，今後の方針をお答えください。

※高度専門職業人とは，5の1)にあげたような栄養に関わる現場で，高度専門家として働く管理栄養士のことを指します。

1) 今後，強化する予定　　　 　　　　　　 ２) 現状維持

3) 現在は行っていないが，今後取り組む予定　 4) 今後も取り組む予定はない　　　5) 未定

**Ⅱ．修士（博士前期）課程の教育について** ※専攻によって異なる場合は，空欄に具体的にご記入ください。

1. 以下の1)～11)の教育内容が，貴施設においてどの程度行われているかについて，全く行っていない（1）～ 必ず行っている(5)までの5段階でお答えください。また，これらの教育内容が，修士修了要件として必須かどうかをお答えください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 大学院生（博士前期課程）への教育内容 | 全く行っていない |  | 必ず行っている | 修士修了要件に必須である場合に○印 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| １) | 研究室内のゼミ(※)に参加させている※複数の学生と教員で，論文抄読や研究発表をしたりする時間 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |  |
| ２) | 修士論文の中間発表を行わせている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |  |
| 3) | 学会発表をさせている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |  |
| 4) | 学会誌に論文投稿させている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |  |
| 5) | 地域と連携した研究を行わせている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |  |
| 6) | 医療施設と連携した研究を行わせている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |  |
| 7) | 企業と連携した研究を行わせている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |  |
| 8) | インターンシップ等の学外実習に参加させている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |  |
| 9) | 語学研修，海外研修などに参加させている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |  |
| 10) | 資格（　　　　　　　　　　　　　　）の取得 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |  |
| 11) | その他（具体的：　　　　　　　　　　　） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |  |

2. 貴栄養関連大学院で取得した単位が，学術団体の認定の資格の単位となることを認めていますか。

１) はい（学会名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　　　　２) いいえ

3. 修士（博士前期）課程において，管理栄養士として求められる基本的な資質・能力を高めるための教育を行っていますか。また，修了時にどれぐらいの学生が修得できていると考えられますか。右の選択肢の中から，それぞれあてはまるもの1つずつに○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 教育を行っているか | 修了時にどれくらいの学生が修得できているかと考えられるか |
| 現在行っている | 現在行っていない | 今後取り組む予定 | ほぼ全員 | ７ ~ ８割 | 約半数  | ２ ~ ３割 | ０ ~ １割 | わからない |
| 1. 管理栄養士の使命感と役割
 | １ | ２ | ３ | １ | ２ | ３ | 4 | 5 | ６ |
| 2) 論理的な思考力 | １ | ２ | ３ | １ | ２ | ３ | 4 | 5 | ６ |
| 3) 異なる分野の人とのコミュニケーション力 | 1 | 2 | 3 | １ | ２ | ３ | 4 | 5 | 6 |
| 4) 資料や文献の検索力と読解力 | 1 | 2 | 3 | １ | ２ | ３ | 4 | 5 | 6 |
| 5) 課題解決に向けた行動力 | 1 | 2 | 3 | １ | ２ | ３ | 4 | 5 | 6 |
| 6) 多様な価値観に対する寛容性と理解力 | 1 | 2 | 3 | １ | ２ | ３ | 4 | 5 | 6 |
| 7) リーダーシップ | 1 | 2 | 3 | １ | ２ | ３ | 4 | 5 | 6 |
| 8) マネジメント能力 | 1 | 2 | 3 | １ | ２ | ３ | 4 | 5 | 6 |
| 9) 社会や組織を変えようとする力（アドボカシー） | 1 | 2 | 3 | １ | ２ | ３ | 4 | 5 | 6 |
| 10) 協調性 | 1 | 2 | 3 | １ | ２ | ３ | 4 | 5 | 6 |
| 11）その他\*（　　　　　　　　　） | 1 | 2 | 3 | １ | ２ | ３ | 4 | 5 | 6 |

\*他に複数ある場合には，行を足してお答えください。

**Ⅲ. 修士（博士前期）課程修了後の進路について**

1. 平成28年度修了生の進路についてお答えください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 分野 | 平成28年度修了生 |
| 1) | 教育機関 | 助教以上の教員 | 人 |
| 2) | 助手 | 人 |
| 3) | 研究員等 | 人 |
| 4) | 研究機関 | 人 |
| 5) | 企業 | 研究職 | 人 |
| 6) |  | 研究職以外（　　　　　　　　　） | 人 |
| 7) | 医療機関 | 人 |
| 8) | 福祉施設・介護施設 | 人 |
| 9) | 行政 | 人 |
| 10) | 学校 | 栄養教諭 | 人 |
| 11) |  | 学校栄養士 | 人 |
| 12) | 給食マネジメント　　　 | 人 |
| 13) | 博士後期課程に進学 | 人 |
| 14) | その他（　　　　　　） | 人 |
| 15) | 未定または不明 | 人 |
| 合　計 | 人 |

質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

**8月31日必着**で返送くださいますよう，お願いします。

※E-mailの場合は，件名を「コアカリ調査」としてkaizen\_kyoiku@jsnd.jpへご回答のファイルを添付し，

送信してください。

［自由記述欄］　ご意見等がございましたら，下欄にお書きください。